

# 韓国留学体験レポート

21018051 重野俊介

私は8月31日～12月26日までの間、韓国に留学をした。これから留学中に体験したこと、感じたことを述べる。

初めに、留学の目的である勉強についてだ。私たちは最初の1ヶ月は午前の部、午後の部共に国際情報大学の生徒だけで勉強をした。午前の部は大学でも習っていた範囲の学習をした。午後の部は韓国文化の学習をした。内容としては、私たちが役者となって韓国語で映画を撮影する授業、韓国の音楽を歌う授業、単語の意味を習う授業、韓国と日本の違いについてのパワーポイント、韓国の有名な場所に行く現地学習などがあった。その後の三か月は、午前の部は自分自身にあったクラスに別れて学習をした。このクラスは日本人だけでなく、多様な国籍の人がいた。私のクラスにはフィリピン人、フランス人、トルコ人、ベトナム人、中国人の方がいて一緒に韓国語を学習した。最初は韓国語を使いコミュニケーションをとるのは難しかったけど、次第に自分の考えを伝えられるようになった。午後の部は最初の一か月と同じように学習した。放課後は週に1回トウミと会い、ご飯を食べたり会話をしたり、韓国語を学んだ。「韓国語上達したね」と言われたときは嬉しかった。

次に、生活面についてだ。まず食生活についてだ。韓国は辛いものばかりというイメージがあった。私は辛いものが苦手だったので不安だったが、辛いものを食べたいと思わなければ辛いものを避けることができ、大勢で鍋を食べに行った時も店員さんが辛いものは食べられるか聞いてくれて辛いものにしてもらった。日本食の店も多くあり食生活で不便を感じたことはなかった。逆に美味しすぎて太ってしまったので健康的にも時々自炊するのもいいと考える。私は最初の頃にご飯を食べに行った店に最後の方にもう一度行ってみてあの時どんなことを話していたのかを理解することができて韓国語の上達を感じることができた。成長を感じることで勉強する励みにもなった。寮はソウルにあるので交通面ではとても便利だ。休日は友人と出かけ買い物や食事などを楽しんだ。

最後に韓国留学についてまとめる。韓国語がほとんどできない状態で留学したとしても、先生方も優しく教えてくれて韓国語が上達するのを日々実感できると考えるので留学をした方がいいと考える。私は留学をして正解だったと考える。金銭的に行くべきか行かないべきかを考えると、行く価値はあると考える